

明治 150 年

について調べる

平成 30 年（2018 年）は、明治元年（1868 年）から満 150 年の年。

図書館の資料を活用して新たな文化が生まれた明治期を振り返り、

当時の人物や文化などを調べてみませんか？



例えば、こんな資料があります



『明治維新 150 年を考える』 一色 清ほか/著 集英社 2017.11

304 大沼図書館 所蔵

民俗学の赤坂憲雄、憲法学の石川健治、財政社会学の井手英策、ノンフィクション作家の澤地久枝、小説家の高橋源一郎、映画監督の行定勲といったメンバーが、「近代日本」を語る講義録。

もくじ

①

明治期の
東京・小平

②

明治期の
人物

③

明治期の
文化・教育

④

明治期の
文学・文豪

⑤

その他

p.2

p.3

p.4

p.5

p.6



①明治期の東京・小平



『小平市史 近現代編』 小平市史編さん委員会

B1-10 中央図書館・各地区図書館 所蔵

近現代編は明治維新から現在までを全8章で構成し、第1章「村の維新」では、維新の変革が小平地域におよび、地租改正や殖産興業、自由民権の展開が小平地域を大きく変える過程を叙述している。



『多摩東京移管前史資料展図録「多摩はなぜ東京なのか!」』 小平市 TAMA らいふ 21 推進実行委員会 1993.8

G1-10 中央・仲町・花小金井・小川西町・喜平・上宿・津田図書館 所蔵

多摩が神奈川から東京に移管された明治初期頃からの時代背景、玉川上水の通船、交通の発達など、写真や地図を多く掲載し解説している。



『風刺漫画に見る明治』 町田市教育委員会 2015.3

B6-45 中央図書館 所蔵

町田市立自由民権資料館による刊行物。企画展《風刺漫画に見る明治～〈笑い〉のなかの日本近代～》の記録として風刺漫画と解説を掲載しているほか、記念講演録も掲載。



『絵で見る明治の東京』 穂積 和夫/著 草思社 2010.11

B6-00,213.61 中央・仲町・大沼図書館 所蔵

江戸時代から明治維新を経て、急速に文明開化を進めた日本。東京は江戸趣味と欧風文化が混在し、日々急激に変貌する空間だった。建築イラスト・都市イラストの第一人者が明治の東京を描きあげる。



『目でみる江戸・明治百科 5 明治の暮らしの巻』 ほか 国書刊行会 1996

E1-00 中央図書館 所蔵

明治時代のグラフィック誌『風俗画報』に掲載された一流画人による風俗画の秀作を、時代・テーマごとに分類。



『江戸から東京へ 明治の東京 古地図で見る黎明期の東京』 人文社第一編集部 人文社 1996.9

D4-00 中央図書館 所蔵

明治時代の古地図で、江戸から東京へと急激に変貌する姿を旧東京市15区の範囲を中心に探る。明治東京こぼれ話も収録。



『古地図・現代図で歩く明治大正東京散歩』 人文社 2003.10

D4-00,291.36 中央・花小金井図書館 所蔵

古地図と現代図を対照し、東京の変貌ぶりを知ることができる。

②明治期の人物



『西郷隆盛はなぜ犬を連れているのか 西郷どん愛犬史』 仁科 邦男/著 草思社 2017.12

289.1 サ10° 大沼図書館 所蔵

日本史上最大の愛犬家、西郷隆盛。維新後は政局から離れ、犬を引き連れ、狩り、温泉ざんまい。そして、西南戦争には犬連れ出陣。西郷が犬とともに歩んできた道をたどる一冊。



『明治史講義 人物篇』 筒井 清忠/編 筑摩書房 2018.4

210.6 津田図書館 所蔵

西郷・大久保から乃木希典まで明治史のキーパーソン 22 人を、気鋭の専門研究者が最新の知見を元に分析する。



『英国人写真家の見た明治日本』 ハーバート・G・ポンティング/著 講談社 2005.5

291.09 中央図書館 所蔵

英国人写真家ポンティングがアメリカの雑誌の特派員として来日し、日露戦争を挟んで 1906 年（明治 39 年）までの来日のたびに見聞し、体験しそして感動したことを、自ら撮影した写真と共に記したもの。



『明治の人物誌』 星 新一/著 新潮社 1998.5

281.04 中央・小川西町図書館 所蔵

星新一の父、星一（はじめ）の夢と理想に手を貸した野口英世、伊藤博文、エジソン、後藤新平など、近代国家の形成期に活躍した明治人たちとの交流の中から、星一の生涯を辿った異色の伝記。



『五日市憲法草案をつくった男・千葉卓三郎』 伊藤 始ほか/著 くもん出版 2014.9

289.51° 中央図書館 所蔵

「五日市憲法草案」とは、明治時代の初め、千葉卓三郎を中心とした青年たちが議論を重ねてつくりあげた憲法草案。その発見の経緯とともに五日市の若者たちがどのような暮らしの中で、自国の未来を思い描いたかを探る。

「維新の十傑」とは？

『維新元勲十傑論』（山脇之人/著, 1884）において、明治維新に尽力した 10 名（西郷隆盛、大久保利通、小松帯刀、大村益次郎、木戸孝允、前原一誠、広沢真臣、江藤新平、横井小楠、岩倉具視）を「維新の十傑」としています。『維新元勲十傑論』は国立国会図書館デジタルコレクション（<http://dl.ndl.go.jp/>）でインターネット公開されています。もちろん図書館にも、それぞれの人物に関する資料を所蔵しています。

③明治期の文化・教育



『日本の制服 150 年イラストで見る制服のデザイン』 渡辺 直樹/著 青幻舎 2016.3

589.21 中央図書館 所蔵

神職の装束をはじめ、洋服として伝來した明治の軍服、警察、消防、郵便、鉄道、ファストフードの店員、学生服まで、70 職種の制服をイラストで紹介する。



『常用漢字の歴史』 今野 真二/著 中央公論新社 2015.9

811.27 中央図書館 所蔵

江戸時代の常用漢字を推測する実験から説き起こし、明治以降のさまざまな漢字表を紹介。常用漢字でたどる日本語の 150 年史。



『明治かがやく』 平凡社 2005.03

210.6 中央・津田図書館 所蔵

愛知県犬山市「博物館明治村」の建築物 67 を一挙掲載する。



『復録版 明治大雑誌』 流動出版 1978

F051 中央図書館 所蔵

明治期に発行された雑誌を対象に収録した一冊。



『明治時代の人生相談』 山田 邦紀/編著 日本文芸社 2007.6

210.6 中央・花小金井・津田図書館 所蔵

「都新聞」を中心に、「女學世界」や「女學雑誌」、「いらつめ」といった婦人雑誌に明治 40 年前後掲載された人生相談 138 本を一冊にまとめたもの。その内容は恋愛から人間関係、健康上の心配、軍隊や兵役に関する相談など多岐にわたっている。



『明治文化全集』 明治文化研究會 日本評論社 1967~

081 中央図書館 所蔵

激動の明治初期の日本に影響を与えた史料・文献を選定・編集した明治文化の研究に役立つ全集。憲政篇、自由民権篇、政治篇、新聞篇、雑誌篇、社會篇、外國文化篇、風俗篇、正史篇、外交篇、經濟篇、法律篇などから成る。



『日本教科書大系 近代編』 海後 宗臣/著 講談社 1978

375.9 中央・喜平図書館 所蔵

明治の初めから第二次世界大戦後検定教科書制度が実施されるまでの間に初等教育機関で使用された主要な教科書を復刻した資料。全 27 卷。

④明治期の文学・文豪



『明治の探偵小説』 伊藤 秀雄/著 晶文社 1986.10

910.26 中央図書館 所蔵

日本推理作家協会賞受賞作品。明治から大正にわたり、大衆的な読物の世界に巨歩を記した黒岩涙香、森田思軒、押川春浪たちによって開拓された探偵小説の妙味と、のちの時代に与えた影響まで、明治の探偵小説史をまとめた一冊。



『絵のように 明治文学と美術』 前田 恭二/著 白水社 2014.9

910.26 中央図書館 所蔵

近代文学のテキストを通して、どのように美術が意識されていたのかを探る。山田美妙から石川啄木まで、一章ごとに特定の文学者ないしは何人かの群像を選び、それぞれに美術を強く意識した時期などを、評伝風にたどっている。



『明治文学遊学案内』 坪内 祐三/著 筑摩書房 2000.8

910.26 中央・大沼図書館 所蔵

明治文学の<愉しみ><発見><回想>という3部で構成されており、その中から活き活きとした世界が立ち上がる。明治文学を楽しむ達人が選ぶ決定版ガイド・アンソロジー。座談会「明治時代の文豪とその生活を語る」を収録。



『失われた近代を求めて 3 明治二十年代の作家達』 橋本 治/著 朝日新聞出版 2014.10

910.26 中央図書館 所蔵

明治維新の前年に生まれた夏目漱石、尾崎紅葉、幸田露伴、正岡子規ら、明治生まれの第一世代の群像を、彼らの作品読解を通して活写する。西洋由来の「近代」を受け入れた日本人が求め、「近代」によって失われたものとはなんのかに迫る。



『樋口一葉と歩く明治・東京』 野口 碩/監修 小学館 2004.12

D2-00 中央図書館 所蔵

樋口一葉の足跡をたどり、一葉の人間的魅力と東京という町を再発見するための、ガイド兼ウォーキングブック。



『青空文庫』

<https://www.aozora.gr.jp/>

著作権の消滅した作品等をインターネット上で閲覧できる。明治期の文学作品も多く公開されている。

⑤その他



『齋藤孝の一気読み！日本近現代史』 齋藤 孝/著 東京堂出版 2017.9

210.6 仲町図書館 所蔵

黒船来航から明治維新、戦争の時代、そして戦後の高度経済成長から現在まで。150年の流れがずっと頭に入る、著者初の「語りおろし日本近現代史」。



『1868 明治が始まった年への旅』 加来 耕三/著 時事通信出版局 2018.2

210.61 仲町図書館 所蔵

1868年（明治元年）の出来事を毎月1章ごとにまとめ、戦争、政治、暮らし、流行、そして毎日の天気まですべてを再現し、明治元年にタイムスリップしたような気持ちで読める一冊。本文と下段の「副音声」で当時の様子を伝える。



『歴史的農業環境閲覧システム』



<https://habs.rad.naro.go.jp/>

明治初期から中期にかけて関東地方を対象に作成された「迅速測図」と、現在の道路、河川、土地利用図とを比較することにより、農村を取り巻く環境の歴史的な変化が閲覧できる。



朝日新聞記事データベース『聞蔵Ⅱビジュアル』、読売新聞記事データベース『ヨミダス歴史館』

中央図書館・仲町図書館で利用可能

『聞蔵Ⅱビジュアル』は1879年（明治12年）から、『ヨミダス歴史館』は1874年（明治7年）からの新聞記事を閲覧できる。中央図書館2階参考室・仲町図書館で利用可能。片面1枚10円でコピー可。（利用には図書館利用カードの登録が必要。）



国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

中央図書館で利用可能

国立国会図書館がデジタル化した貴重資料を中央図書館2階参考室に設置したパソコンで閲覧できる。閲覧できる資料には明治期に出版された図書・雑誌なども多数。片面1枚10円でコピー可。（利用には図書館利用カードの登録が必要。）



『国立国会図書館 歴史的音源』

中央図書館で利用可能

1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤および金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を聞くことができるサービス。中央図書館2階参考室に設置したパソコンで利用できる。音源の中には、西郷隆盛を歌った歌謡曲『西郷どん』（唄：春日八郎）なども。

OPACやホームページで本を探すとき

検索機（OPAC）やホームページを使えば、小平市の図書館で所蔵している資料を横断的に検索し、予約して受け取ることも可能です。検索するときは、キーワード入力のコツを覚えておくと、探している資料によりスムーズにたどりつくことができます。

検索のコツ

検索をするときは「AND検索（入力したキーワードすべてを含む）」を上手く活用しましょう。「明治維新」で見つけたい資料が見当たらない場合は「明治 維新」と区切って検索することで、より多くの資料が HIT するようになります。

また、同じ意味の言葉でも違う表現をしている資料もあります。

キーワードの組み合わせ次第で検索結果も変わるので試してみましょう。

明治 150 年に関するキーワードの例

明治/維新/150/日本史/近現代/1868/西郷隆盛 など

明治期に関する図書でも、内容によって保管場所は様々です。

棚を探す際は背ラベルの番号を頼りに探してみましょう。

